ＣＳＲで 業績アップ しませんか！

※実績と実力のＰＳＣがお手伝いいたします！

- 新しいファンの獲得
- ブランドイメージの向上
- 地域との関係強化
- 従業員の成長

→ 業績アップ

コース例

フルコース	A → B1 → B2 → C → D → E → F	200万円～
簡易コース	A → B2 → C → D	100万円～
オリジナル	B2 → D	60万円～
単独コース	B2	30万円～

※ご支援内容は柔軟に対応可能です。
※費用は個別にお見積りいたします。

実施例

ヒアリング

↓

ＳＨＤ（ステークホルダー・ダイアログ）

従業員 → 取引先 → 地域 → 分析 → マルチ

（代表者による対話）

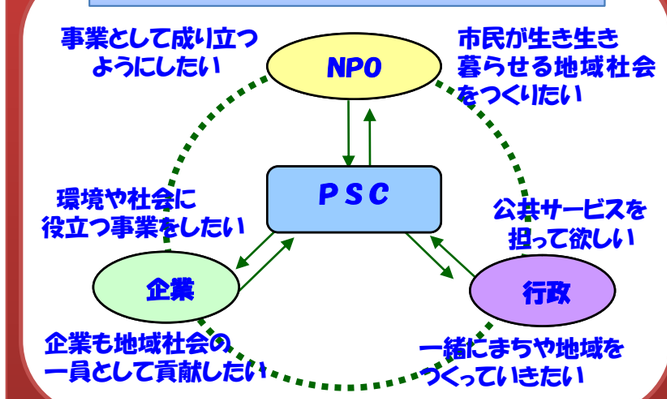
↓

ＣＳＲ委員会 → ＣＳＲ実践ＮＰＯ協働 → ＣＳＲレポート

【お問い合わせは】パートナーシップ・サポートセンターへ

◆1998年から活動しているＮＰＯ団体です。 ◆ミッションは「ＮＰＯと企業・行政の協働推進」です。
◆コンサルティングは、愛知県から委託を受けた「中小企業の活力向上事業」他多数あります。
◆コーディネート、コラボレーション、教育啓発、調査研究等の事業も行っています。

企業・行政とNPOを結ぶ PSC



どうぞお気軽にお問い合わせください
（初回ご相談は無料です）

特定非営利活動法人
パートナーシップ・サポートセンター(PSC)

〒４６４－００６７　愛知県名古屋市千種区
池下１－１１－２１　サンコート池下２Ｆ

◆電話：０５２－７６２－０４０１
◆ＦＡＸ：０５２－７６２－０４０７
◆メール：info@psc.or.jp
◆ＵＲＬ：http://www.psc.or.jp

パートナーシップ・サポートセンター（ＰＳＣ）

～ 地域に愛される企業になるために ～

貴社の CSR・社会貢献 をサポートします！

こんな悩みありませんか？

【悩みその1】初めて社会貢献部門の担当になったんだけど･･･何から手をつければいいのか
会社がＣＳＲに力を入れることになったんだけど･･･
社内に**相談**できる人がいない･･･ etc.

【悩みその2】それなりにやって来たけど・・・
品質や**環境**のＩＳＯだけでは不十分なのか
現在の地域貢献活動を**見直し**たい etc.

【悩みその3】具体的に進めていきたいんだけど・・・
信頼できる**ＮＰＯと協働**したい
寄付先のよい団体を紹介してほしい
社員に**ボランティア体験**の機会を提供したい
人権や多様性の研修を実施したい etc.

解決をお手伝いします！

【その１】貴社のニーズに合わせた活動プランをご提案します
【その２】顧客・従業員・地域等の**意見**を反映して見直します
【その３】具体的な**実行プラン**策定と実行をサポートします
その他にも･･･社外への効果的な**ＰＲなど**をサポートします

これまでにサポートした企業の参加者の声

◆ＣＳＲ推進がなぜ必要なのか、理解できた
◆**社外の人の意見**は、非常に刺激的だった
◆地域社会とのネットワークや人脈を広げることができた
◆**ＮＰＯとの共同開発商品**は、ストーリー性があって販売しやすい
◆ＩＳＯ２６０００を正しく理解することができた
◆**地域の人からの期待**が予想以上に大きかった
◆同じ社内で、抱える問題点の違いに気づかされた
◆**従業員の視野**が広がって、成長につながった

“町工場”から“いい会社”へ
「働く社員の顔つきと意識がガラリと変わりました」
Ｔ電化工業㈱　常務取締役
ステークホルダー・ダイアログに取り組んでから、**社内のコミュニケーションが盛んになり**、働く社員の顔つきと意識がガラリと変わりました。 「**社員の働く意欲**」や「**会社を良くしようという意識**」が格段に高まりました。

貴社のニーズに合わせたご提案をさせていただきます

何なりとまずはご相談を！
（初回ご相談は無料です）
電話：052-762-0401
メール：info@psc.or.jp

【A】社内研修

ＣＳＲや社会貢献の基礎から具体的実践まで、幅広く対応します。

【例】「ＣＳＲとは」、「ＮＰＯとは」、リーダー向け講演会、一般社員向け研修、ワークショップ、事例紹介　　etc.

私たちの強みと実績

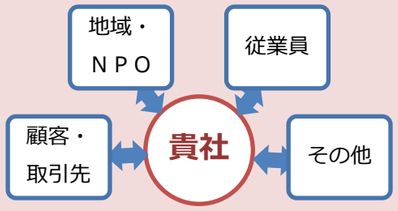
※　これらを生かしてサポートします

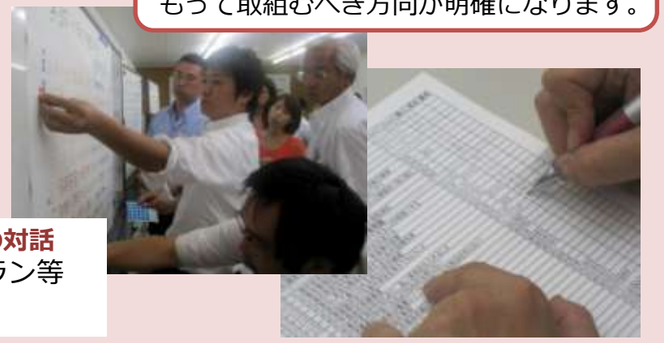
- コンサルティング実績
- 協働ノウハウ
- ＮＰＯネットワーク

愛知県「中小企業の活力向上事業」等で成果をあげています。

【B】ステークホルダー・ダイアログ

これまでと違った視点からの意見や指摘に刺激を受け、会社も従業員も自信をもって取組むべき方向が明確になります。





貴社のテーマに合わせ、**ステークホルダーとの対話**【ＳＨＤ】をもとに、方針・戦略・実行プラン等を決めていく有効な手法です。

【C】ＣＳＲ委員会　⇒　施策実行

ＣＳＲ委員会での検討から、ＮＰＯと協働で新製品を開発したケースもあります。

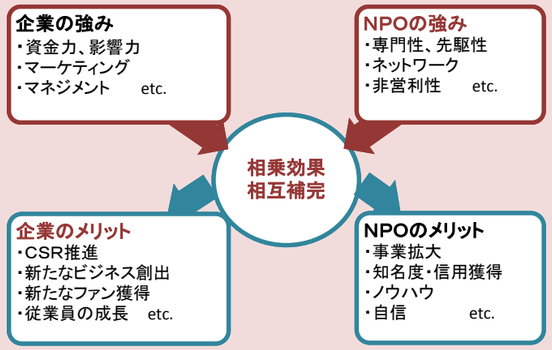
ＣＳＲ委員会で議論、確認しながら方針を決め、施策を実行していきます。

【ＣＳＲ委員会に参加した従業員の声】
◆項目に点数をつけることにより、自社の強い部分や弱い部分が明確になったような気がしました。
２年間でＣＳＲに対する意識はとても大きく変化しました。今後も、企業とともに自分自身も成長できるような活動を行っていきたいと思います。
【総務チーム　Ｙ】
◆活動から３つ学びました。
１つめは、目的の重要性。
２つめは、目的を共有できた時の意識変化。
３つめは、目的を構築するための有効な手法。
この（ＣＳＲ委員会での）経験は、私の人生で大きな財産になると確信しています。
【情報管理　Ｙ】

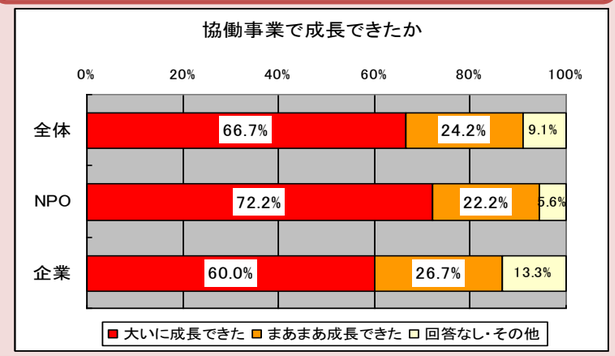
パートナーシップ・サポートセンター（ＰＳＣ）

【D】ＮＰＯとの協働

企業もＮＰＯも成長でき、貴社の新しいファンができるなど、予想以上の成果が得られます。



貴社の目的に合った最適なＮＰＯを、協働先としてご紹介します。



ＮＰＯと協働した**企業の９割近くが「成長できた」**と答えています（『ＣＳＲに効く！企業＆ＮＰＯ協働のコツ』より）

【E】広報、ＣＳＲレポート

※貴社に合った分野をご提案

◆まちづくりの推進　◆環境の保全
◆子どもの健全育成　◆保健、医療、福祉の増進
◆社会教育の推進　◆国際協力
◆職業能力の開発、雇用機会の拡充　◆災害救援
◆学術、文化、芸術、スポーツの振興
◆経済活動活性化　◆情報化社会の発展
◆男女共同参画社会の形成の促進
◆地域安全　◆人権の擁護、平和の推進
◆農山漁村、中山間地域の振興
◆観光の振興　◆消費者の保護　　他

【F】外部評価で社内浸透

社会的な評価を得られ、成果を社会に広報できるとともに、従業員の誇りと意欲にもつながります。

◆企業とＮＰＯの優れたパートナーシップ事例を選出して表彰するものです。
◆弊団体主催で既に11回開催（38都道府県から、応募292事業、参加企業557社）。
◆中部経済新聞「企業とＮＰＯ 会社が伸びる 地域が活きる」を７カ月間連載しました。

ヒアリング → 【A】社内研修 → 【B】ＳＨＤ → 【C】ＣＳＲ委員会 施策実行 → 【D】ＮＰＯとの協働 → 【E】広報 ＣＳＲレポート → 【F】外部評価